

2009年度

科目名	教科教育法特論		
担当教員	小谷 卓也		
配当	教福3	コード	43440
開期	後期	講時	木曜日3限
		単位数	2
授業テーマ	小学校理科及び保育内容(環境)の授業構成に必要な実験・観察の知識と技能の養成		
目的と概要	幼稚園又は小学校教員として保育内容(環境)又は理科の授業を構成する為には、教師が実験・観察の意義を理解し、幼児・児童に指導できる技術を習得しなければなりません。そこで本講義では、まず実験・観察の意義について十分学習します。さらに小学校理科及び保育内容(環境)に役立つ実験・観察を行いながら、その技術を習得するとともに、実験レポートの作成方法についても講義していく予定です。		
成績評価法	評価は、平常点、毎時間の電子メールによる電子小レポート、実験レポート、実験レポート発表など多方面から総合的に評価します。毎時間必ず出席し、小学校教員及び幼稚園教員・保育士として理科、保育内容(環境)において必要な実験・観察技術を習得したいという学習意欲の高い学生の受講を強く望みます。		
テキスト	自由研究ガイドブック 長く使えてネタもたっぷり!!(左巻健男/東京書籍)		
参考書	毎日の復習くりかえし理科ドリル小学4・5年(教学研究社)		
履修に 当たっての 注意・助言	<p>1. やむを得ない理由により欠席する、または欠席した際は、必ずその日時と理由をメールに書き、自己申告して下さい。自己申告しない場合は、無断欠席扱いです。なおメールの操作方法等は、授業で説明します。</p> <p>2. 本講義では、出欠、及びレポートの提出にコンピューターの電子メールを使用します。コンピューターの電子メールの取り扱いに詳しくない人は、コンピューター技術基礎等の授業内容をよく復習しておいてください。</p> <p>3. 本講義は、実験室の収容能力と授業の質の確保のため、「上限30名程度」の定員制限があります。</p>		
講義計画			
[学習項目]	[学習内容]		
	第1回実験・観察の意味(1)実験・観察の意味について学ぶ。		
	第2回実験・観察の意味(2)実験・観察の意味について学ぶ。		
	第3回保育内容(環境)の実験・観察(1)保育内容(環境)で役に立つ実験・観察・科学工作を行いながら、実験・観察技術を習得する。		
	第4回保育内容(環境)の実験・観察(2)保育内容(環境)で役に立つ実験・観察・科学工作を行いながら、実験・観察技術を習得する。		
	第5回理科(生物分野)の実験・観察(1)理科(生物分野)の実験・観察を行いながら、科学の方法を習得する。本年度は、顕微鏡の使い方、光合成の実験等を行う予定です。		
	第6回理科(生物分野)の実験・観察(2)		
	第7回理科(物理分野)の実験・観察(1)理科(物理分野)の実験・観察を行いながら、科学の方法を習得する。本年度は、光の実験、熱の実験、電気の実験等を行う予定です。		
	第8回理科(物理分野)の実験・観察(2)		
	第9回理科(地学分野)の実験・観察(1)理科(地学分野)の実験・観察を行いながら、科学の方法を習得する。本年度は、鉱物の観察、地層のつき方に関する実験等を行う予定です。		
	第10回理科(地学分野)の実験・観察(2)		
	第11回理科(化学分野)の実験・観察(1)理科(化学分野)の実験・観察を行いながら、科学の方法を習得する。本年度は、ものの溶け方と水溶液の性質等について実験する予定です。		
	第12回理科(化学分野)の実験・観察(2)		
	第13回実験レポート発表(1)実験レポートの作成と、それについてのプレゼンテーションを行う。		
	第14回実験レポート発表(2)実験レポートの作成と、それについてのプレゼンテーションを行う。		
	第15回実験・観察の授業構成について全講義内容を振り返りながら、実験・観察授業構成のあり方について自らの見解をまとめる。		
	第16回データ分析(3)調査(実験)の結果得られたデータを、適切な手法を用いて分析する。		